

〈第242号〉

中国新聞



★4月  
百合  
で、ま  
いる



ちゅーピー

# ファミ

## 柳井・熊毛

【毎月1日発行】

2019年(平成31)  
発行「ファミ  
742-0022 柳井市柳井  
TEL(0820)2:

●中国新聞購読のお申し込みは…0120-492-506 ●新聞オリコミ広告のお申し込みは…0820-23-0990 ●ディリースポーツのお

### ウエスタンリーグ開幕

# 赤く染まる 由宇に恋鯉!!

## 由宇球場でカープ二軍を応援しよう!

▼柳井市の木阪賞文堂では金魚ちょうちんとカープのコラボグッズを販売。あさひ製菓は同社の代表的銘菓「月でひろった卵」の赤バージョン(いちご味)も。

▶始球式を務めた志村健樹くん  
下は由西小の皆さん



▼送迎のタクシーも赤一色。  
カープ談義も盛り上がります。



木阪泰之さんと中元誓子さん



由宇球場の駐車場利用で潮風公園やゆう温泉、森の小箱で使える割引券をゲット!!

カープ仕様の由宇駅

いよいよ球春到来!!4連覇・悲願の日本一を掲げる広島東洋カープは今年も話題の多いシーズンで、熱い戦いから目が離せません。カープ二軍本拠地の由宇球場では一足早く3月15日にウエスタンリーグが開幕。待ちかねた多くのファンが来場し、試合も勝利して大いに盛り上がりました。

この日は球場で地元・由宇町の特産品「由宇とまと」を販売。トマトを作り始めて3年目という岡崎昌秀さん(31)と藤村道明さん(33)が、来場者においしいトマトをPRしました。由宇とまとはじっくり時間をかけて育て、完熟してから収穫するのでしっかりした味わいが特長。それだけに作業も大変で、岡崎さんは「大変なことも多いけど、それだけにやりがいがあります。農業も新しくなり面白い。若い人が就労し、農業人口が増えれば」と話します。

また、場内にあるグッズなどを販売する売店も大賑わい。「今、活躍している選手はほとんどここ(由宇球場)で育った選手たちで、応援するファンも随分増えました。これからもっと多くの方が来場し、カープと由宇町を応援してほしい」とは同店を運営する由宇協会の出雲忠事務局長(68)。熱い戦いが始まり、これからは野球の季節。さあ、由宇球場でカープを応援しよう!!

(由宇球場の日程はファミリーカレンダーに記載しています)



平成15年に設立した「志誠館」は実践空手道場。4歳から54歳までの稽古生87人が平生本部道場と田布施道場で稽古に励んでいます。道場訓は「人を思いやる」、「人に感謝する」。実践空手ゆえに直に打撃を受けることで痛みを知り、強い心と体、思いやりの精神を養います。

稽古は突き・蹴り・受けの基本に始まり、型の稽古、防具をつけたミット打ちや組手を行い、心肺機能強化



▲組手稽古の様子。子どもらの力強さが伝わります。

◀昨年、I.K.O国際空手道連盟の全日本大会で、優勝(型の部)した3段・富山莉奈さん(23)。

や筋力トレーニングなども取り入れます。また、それぞれの個性を尊重し、型にはめない指導方法も取り入れ、「礼儀礼節を重んじ、体力を養い、続けることで忍耐力も備わります」と佐藤大介館長(42)。組手稽古では時折、打撃を受けて泣く子もいるそうですが、なるべく手をそえず、忍耐強さと反骨心を養い、努力することで強くなることを理解・実践させています。空手を始めて4年という藤山一真君(12)は「厳しくてつらいこともあったけど楽しい。どんなことにも打ち勝つ強い人間になりたいです」と目を輝かせます。入門した子どもらが一生懸命稽古をする姿を見て、空手を始める保護者も多いそうで、佐藤館長は「空手を通して心身を鍛錬し、強くたくましくなってほしい」と話していました。

【稽古生募集中】 ※見学・体験 随時受付中

・場 所／平生中学校校武道場・熊本南高校格技場  
田布施中学校校体育館・武道場

・問合せ／☎090-9060-218 (佐藤)

このコーナーで  
します。テーマは

《先月のテーマ

Q.消耗品・保  
ギリギリまで

A.ギリギリまで  
ながら、そろそ  
てチラシをチ

A.ストック派で  
てしまいます。  
使います。家に

《今月のテーマ》

Q.今年のGWに  
派?行き当たり  
た<さんの

## お願い金魚

願い事を書いて  
つるせば  
叶うかも?!

柳井市

柳井市の郷土民芸品「金魚ちょうちん」を赤い折り紙で表現し、お土産にも喜ばれている「お願い金魚」。10年前、地元の女性グループ「やない自遊倶楽部」の坪野ミチ子会長が「金魚ちょうちんを折り紙で作りたい」と提案し、会員で「アトリエKiBi」を主宰する檜垣圭子さんの考案によって誕生しました。

以来、地元の人や観光客が腹の内側に願い事を書くように、白壁の町並みの商店に飾ったところ反響があり、市内の文具店「木阪賞文堂」の協力で、折り方の解説書が入った「おりがみせつ」も商品化しました。「願い事を書けば叶うかも」という期待や手軽さから、手紙に同封して送る人も。幸せを運ぶお土産として日本各地や海外にも渡り、遠くはブラジルやアフリカからもそのエピソードが届いています。

誕生から10年、さまざまな出会いや物語を紡いだお願い金魚。檜垣さんは3月の個展でそのストーリーを披露しました。坪野さんは金魚ちょうちんにお願い金魚をぶら下げた「開運の大吉家族」を商品化。市内のばさら窯やきじやなどで販売を始め、新築や出産、還暦祝いといった縁起物の贈り物として好評を呼んでいます。「柳井のお土産としてたくさんの人に幸せを運んでほしい」ーお願い金魚の旅は続きます。



旅行などで留守をする際は  
新聞の取り置き(後日配達)が



岩柳  
エリア

# 新聞

“ちゅーピーと学ぼう!”に

《クイズ対象期間》4/28

4/28(日)から5/5(祝)まで掲載される問題  
ある応募先・応募方法を参照の上、中国新聞  
新聞クイズ係までご応募ください。

正解者の中から抽選で下記の賞品をプレゼ

中国新聞特製  
カープ  
マフラータオル  
正解者の中から  
抽選で 500名様



外れた方  
全員に  
カープクリアファイルを  
差し上げます。

《応募締切》5/9(木)消印有

※解答欄が足りない場合は、ハガキの余白をお使いください。  
※応募されたハガキに書かれた個人情報、中国新聞販売所において適切に